

ファウラー ブルームバーグニュース 日本・韓国編集局長との懇談会

開催日：2017年10月24日(火)

場所：経団連会館

来賓：ブライアン・ファウラー ブルームバーグニュース 日本・韓国編集局長

経済広報センターでは、わが国経済界と主要国メディアとの関係強化に向けた活動の一環として、有力外国ジャーナリストとの意見交換を継続的に実施している。10月24日、米ブルームバーグニュースのブライアン・ファウラー日本・韓国編集局長を招き、「メディアの未来～ジャーナリズムの動向を探る」をテーマに意見交換した。懇談会には、ANAホールディングスの片野坂真哉社長ら、約30名が参加した。

ファウラー氏はまず、在京の外国ジャーナリストが近年、減少傾向にある一方で、インターネット向けコンテンツの作成やテレビ・ラジオへの出演等、さまざまな役割を果たさねばならなくなっているとの状況を紹介した。さらに、いわゆる「情報速度(速報性)」に対する顧客ニーズはますます高まっているとしたうえで、「このようななかでも、何よりも重要なのは情報の正確さであり、これを確実にするために、ブルームバーグは最大限の努力を払っている」と強調した。加えて、ソーシャルメディアなどを含め、ネット上に大量の情報があふれる現状に言及、「ツイッターなどのSNS(交流サイト)には、ニュースとなる情報もあるが、そうでないものも多い。

ジャーナリストは、より賢く、SNSなどの中身を見極めねばならない」と述べた。

以上

